

移植後、高温が続いているため、ワキが発生しています！！  
いもち病の伝染源となる取り置き苗は、直ちに処分しましょう！！

5月31日に仙台管区气象台から発表された1か月予報によると、今後の気温・降水量・日照時間は平年並みと予想されていますが、6月9日からの1週間は気温が高くなる見込みです。  
田植え後高温が続いているため活着は良好ですが、ワキや藻類・表層剥離の発生が多くなっています。一時的な落水管理（2～3日間）と水交換を早めに行い、分げつの発生を促しましょう！

**ワキ（土壌の異常還元）対策**



- ～ 人間の口にあたる、『根っこ』  
ここが弱ると、生育は大きく停滞します！ ～
- 1 一時的な落水管理（2～3日間）を行い、水を交換し、根の健全化を図りましょう。

【東北地方 1か月予報】  
6月1日～6月30日  
期間の前半、数日周期で天気が変わる  
<気温の予報>  
6/1～6/7：平年並みの確率40%  
6/8～6/14：平年より高い確率40%  
6/15～6/28：平年並みの確率40%

**適正な茎数の確保**



- 1 目標茎数を確保するまでは水深を2～3cmとし分げつ発生を促進しましょう。
- 2 下表のとおり、目標茎数が確保されたら、すみやかに落水して作溝・中干しを行いましょう。

【表 品種別の目標茎数の目安】

品 種	目標とする1株あたりの茎数	
	70株植/坪	80株植/坪
は え ん き	22～24本	19～21本
つ や 姫	19～21本	17～19本
コシヒカリ	19～21本	17～19本
ひとめぼれ	23～25本	20～22本
あきたこまち	21～23本	18～20本

6月は水管理がポイント  
ワキにより茎数確保が遅れ、収量・品質にまで影響します！！

**いもち病対策**



- ～ 取り置き苗を圃場に放置していませんか？ ～
- 1 取り置き苗はいもち病の伝染源となります。自らの圃場だけでなく、周囲の圃場へも影響を及ぼします。圃場の見回りを行い、直ちに処分しましょう。
  - 2 箱施用剤による防除を行わなかった場合は、6月20日頃までに予防粒剤を散布しましょう。



葉いもち病斑

**カメムシ対策**



斑点米カメムシ類は、イネ科植物などの雑草地で増殖します。農道や畦畔の草刈りを行い、生息密度を減らしましょう！



アヒゲホリミドリカメ

農薬の使用に際しては、使用基準を再確認し正しく使いましょう！  
農薬情報は山形県が運営する農業情報サイト『やまがたアグリネット(愛称:あぐりん)』  
<http://agrin.jp/>を参照ください。